

	世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 6月 6日 第 16 号 校長 大坂 崇		教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる		
	社会性の学び		知的な学び	心と体の学び	
	自他の尊重 地域貢献		主体的な学び 学習の定着	心身の健康	

SST (3)

実際のSST

三重県教育委員会の資料より

1 基本的な流れ

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| 1 教示（説明する・聴かせる） | 目的を伝え、やってみる気持ちを高める |
| 2 モデリング（してみせる） | 指導者が実際にやる、それを観察し真似する |
| 3 リハーサル（させる） | 繰り返し練習する、楽しく体験することが重要 |
| 4 フィードバックと強化（ほめる） | リハーサル振り返り、良い所を誉める、不適切は修正 |
| 5 定着化（活用する） | 練習した場面以外の日常生活でもできるよう促す |

ここが特徴

キーワード：「生き生きと活動できる場」「成功体験」

2 分類

構成的なSST

身に付けさせたいスキルを設定してからエクササイズを考えたもの
 (例) ゲーム、ロールプレイなど
 長所：スキル使用が確保しやすい

非構成的なSST

行事等の場面は決まっていて、そこで使用されるスキルを考えたもの
 (例) 校外学習・学級行事など
 長所：場面が日常的で自然である
 短所：スキル使用の機会が計算できない

3 実際の進め方

- | | |
|-------------|---|
| 1 学級の実態把握 | どんなトラブルが起きやすいか
特別な支援を要する生徒に周囲の生徒はどんな言動をしているか |
| 2 課題のスキルを把握 | このクラスではどのスキルに課題があるのか ← |
| 3 エクササイズを実施 | 何時間で何をさせるかを確認 |
| 4 教師自身の振り返り | うまくいった ⇒ 自分の指導スキルとして定着
うまくいかなかった ⇒ 実施環境を振り返る |

エクササイズでの「言葉がけ」のポイント

「どうしてそうなったの？」(状況把握)
 「こういうやり方があるよ」(スキル提示)
 「こうしたところはよかった」(継続・拡充のポイント提示)
 「もっと違うやり方はあるかな？」(スキルの発見)
 * いろいろな状況に見通しを与える。
 あいまいな指示を排除、1つのことに1つの指示が原則。

1時間・1回やったからうまくいくわけではない。
 積み重ね・継続が力になります。

・一目でわかる表を作ればよかった
 ・わかりやすい言葉ではなかった
 複数の指導者でやると効果的
 個別の支援の仕方を考える

落ち着かずトラブルの起きやすい学級なら

まずは「ルール理解・遵守のスキル」

「聞き取りスキル」

「自己の感情理解スキル」 が視点